

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(4 年計画の 4 年目)

1. 研究課題

アジアにおける人種主義の連鎖と転換

Chain Reactions and Transformations in the Meanings of Racism in Asia

2. 研究代表者氏名

竹沢泰子

Yasuko Takezawa

3. 研究期間

2016 年 04 月 - 2020 年 03 月 (4 年度目)

4. 研究目的

従来の人種主義の研究の大半は、非「白人」であるマイノリティ集団を主たる研究対象としてきた。しかし、日本やアジアにおける人種主義は、そのような皮膚の色で分類する単純な構図には収まらない。例えば、「白人」ではない「日本人」が行為体となった場合、身体的に不可視の人々を、自己・他者の差異化によって人種化するプロセスとメカニズムが見受けられる。さらにそのような不可視の人々と「白人」に対する両義的なまなざしが交錯し、アジアにおける人種主義は屈折した複雑性を見せている。本共同研究では、他地域との比較を射程に含めながら、知識人言説、大衆文化、科学言説等を検証し、アジアにおける人種主義の連鎖と意味転換のプロセスとメカニズムを解明する。

Most of the existing literature on racism has dealt with people of color as research subjects. However, racism in Asia cannot be explained in such a color-based paradigm. For example, racism exercised by “Japanese” people, who are non-“whites,” involves the process of racialization of physically invisible, marginalized groups, by the distinction between the self and the other through political, economic, and legal systems. Furthermore, this intersects with the ambivalent gaze towards “white” Westerners, making racism in Asia multi-layered and complex. In this collaborative research project, we study the reception and transformation of racism in Asia, by examining intellectual and scientific discourses, popular culture and other related materials from a cross-regional perspective.

5. 本年度の研究実施状況

本年度は大きく分けて以下の7つの活動を中心に実施した。1) 京都大学人文科学研究所とフランス国立社会科学高等研究院の日仏学術交流事業として国際シンポジウム「人種主義と反人種主義の越境と転換」を2日間にわたって開催し、その成果を『人文学報 特集号 人種主義と反人種主義の越境と転換』(共編)で刊行した。2) 人種研究や方法論に関する国際セミナーを計2回開催した。外国人招聘研究者を含め、アメリカ、ハンガリー、マレーシアから研究者を招いて開催した。3) 大学院生を含む若手研究者が「人種、エスニシティ、移民」について議論するワークショップを1回開催した。4) ヒトの「ちがひ」に関する文理融合の研究会を計2回開催した。5) 被差別部落運動に関する研究会を部落解放論研究会と合同で1回開催した。6) 日本軍「慰安婦」制度をめぐる論争に関する映画『主戦場』(2018年)を取り上げ、監督を招いて議論する上映会を1回開催した。7) 『環太平洋地域における移動と人種』(共編)に関する出版記念シンポジウムと合評会をそれぞれ1回ずつ開催した。

6. 研究成果の概要

最終報告書に記載

7. 本年度の研究実施内容

- 2019-05-18 第1回研究会 国際シンポジウム「人種主義・反人種主義の越境と転換」(日仏学術交流事業) *Ordre social et ordre racial en Amérique latine coloniale* 発表者 Jean-Frédéric Schaub フランス社会科学高等研究院
明治の教科書にみられる「人種」・「民族」記述 発表者 竹沢泰子
Law and Race in the European History of the 20th Century 発表者 Silvia Falconieri フランス国立科学研究センター
「国際結婚」言説の配置と変容から見る近代日本の人種・人種化論 発表者 長志珠絵 神戸大学
日本統治下の台湾における植民地人類学、「理蕃」政策、先住民族の人種化過程 発表者 Arnaud Nanta フランス国立科学研究センター
生政治的統治のグローバルな展開と被差別部落 発表者 関口寛 四国大学
- 2019-05-19 第2回研究会 国際シンポジウム「人種主義・反人種主義の越境と転換」(日仏学術交流事業) 東ユーラシアの人類集団史とゲノム多様性 発表者 太田博樹 東京大学
Les tests ADN peuvent-ils démystifier les idéologies racistes ? 発表者 Sarah Abel アイスランド大学
Science des races et sciences politiques en France (1815-1842) 発表者 Claude-Olivier Doron パリ第七大学

反人種差別と霊的普遍主義—日印ナショナリズムの交差と分岐 発表者 田辺明生 東京大学

2019-05-21 第3回研究会 文理融合研究会

国際シンポジウム「人種主義・反人種主義の越境と転換」関連論集について議論 発表者 Jean-Frédéric Schaub フランス社会科学高等研究院

発表者 Arnaud Nanta フランス国立科学研究センター

発表者 Sarah Abel アイスランド大学

発表者 Claude-Olivier Doron パリ第七大学

発表者 関口寛 四国大学

発表者 田辺明生 東京大学

発表者 竹沢泰子

2019-07-05 第3回研究会 国際セミナー Contradictions of Co-Being Between “Native” and “Scholar” 発表者 芹澤隆道

Transpacific Scholars: Conceptualizing the Case of American Studies in Japan

発表者 Lon Kurashige 南カリフォルニア大学

2019-11-16 第4回研究会 国際セミナー「Racialization: Multiple Modalities of

(In)Visibility」 Invisible Racialization of Roma: Articulation, Oppression, and Structural Violence 発表者 Angéla Kóczé 中央ヨーロッパ大学

“Race”, Racialization, and Multiracialism in Contemporary Malaysia: Toward Post-Racial Futures? 発表者 Sharmani Patricia Gabriel マラヤ大学

The International Decade for People of African Descent (2015-2024): A

Transnational Terrain for Antiracist Affirmations that Black Lives Matter 発表者 Faye V. Harrison イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校

2019-12-15 第5回研究会 「人種／エスニシティ／移民 若手研究者ワークショップ」 発表者 内野クリスタル

発表者 キム ソニア

発表者 志賀恭子 同志社大学

発表者 芹澤隆道

発表者 孫・片田晶

発表者 竹田響

発表者 徳永悠

発表者 山中美潮 同志社大学

2020-01-06 第6回 文理融合班研究会 ヒトの「ちがひ」研究会

2020-01-07 第7回 文理融合班研究会 ヒトの「ちがひ」研究会

2020-01-10 第8回研究会 映画『主戦場』上映会・デザキ監督を囲んで 発表者 Miki Dezaki

発表者 中村理香 成城大学

2020-01-12 第9回研究会 『環太平洋地域の移動と人種』出版記念シンポジウム 発表者
平野克弥 カリフォルニア大学ロサンゼルス校

発表者 鬼丸武士 九州大学

発表者 関口寛 四国大学

発表者 徳永悠

発表者 内野クリスタル

発表者 土屋和代 東京大学

発表者 成田龍一 日本女子大学

発表者 田辺明生 東京大学

発表者 竹沢泰子

2020-01-26 第10回 歴史文化班、部落解放論研究会との合同研究会 1960、70年代
の学生運動と部落解放運動との関係について 発表者 Till Knautd

発表者 大賀正行 部落解放・人権研究所

1960、70年代の学生運動と部落解放運動との関係について 発表者 友永健三 部落解
放・人権研究所

発表者 谷元昭信 大阪市立大学

2020-03-09 第11回研究会 『環太平洋地域の移動と人種』合評会(コロナのため延期)

発表者 飯島真里子 上智大学

発表者 貴堂嘉之 一橋大学

発表者 津田浩司 東京大学

8. 共同研究会に関連した公表実績

『環太平洋地域の移動と人種—統治から管理へ、遭遇から連帯へ』(共編)(京都大学学術出版会、2020年)竹沢泰子、ジャン＝フレデリック・ショブ編『人文学報 特集:人種主義・反人種主義の越境と転換』人文科学研究所 2020

9. 研究班員

所内

石井美保、瀬戸口明久、徳永悠、内野クリスタル、Lyle De Souza、芹澤隆道

学内

川上浩司(大学院医学研究科)、佐野亘(大学院地球環境学堂)、Caroline Hau(東南アジア研究所)

学外

田辺明生(東京大学)、太田博樹(東京大学)、鬼丸武士(九州大学)、坂野徹(日本大学)、篠田謙一(国立科学博物館)、関口寛(四国大学)、瀬口典子(九州大学)、徳永勝士(東京大

学)、成田龍一(日本女子大学)、舟橋健太(龍谷大学)、吉村智博(大阪人権博物館)、John Russell(岐阜大学)、渡辺紀子(立命館大学)、Arnaud Nanta(フランス国立科学研究センター(CNRS))、Mark Winchester(神田外国語大学)

10. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数	参加人数				延べ人数			
		総計	外国人	大学院生	若手研究者	総計	外国人	大学院生	若手研究者
所内	1	5 (2)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	17 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
学内	1	6 (3)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	6 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国立大学	4	5 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
公立大学	1	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
私立大学	10	8 (6)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	11 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学共同利用機関法人	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
独立行政法人等公的研究機関	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
民間機関	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
外国機関	8	9 (5)	9 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0	120 (60)	0 (0)	0 (0)	50 (0)	240 (120)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	25	154 (79)	12 (7)	3 (1)	56 (4)	299 (150)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※()内には、女性数を記載

11. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数
なし

12. 費目の 30%を超える大幅な変更があった場合の変更理由
なし

13. 次年度の研究実施計画
なし

14. 研究成果公表計画および今後の展開等

Politika 特集号 Circulations et métamorphose du racisme et de l'antiracisme
(共編)